

4.2.4 コミュニティ交通の現状

(1) 興居島「ふれあいタクシー」

興居島では、「ふれあいタクシー」を過疎地有償運送事業として、2015（平成 27）年より運行を開始しました。当初の利用登録者は約 280 人でした。

＜過疎地有償運送事業とは＞

道路運送法（第 78 条）では、原則として自家用車による有償運送を認めていないが、タクシー等の公共交通機関によっては住民に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合において、特定非営利活動法人等が、実費の範囲内であり、かつ、営利とは認められない範囲の対価によって自家用車を用いた有償運送（過疎地有償運送等）を行うことを認めている。

■興居島ふれあいタクシーの事例

＜実施の背景＞

興居島においては、島内唯一の移動手段として営業していた民間のタクシー事業者が、2009（平成21）年秋頃から運休状態となった。

その後、2011（平成23）年の秋頃から運行が再開されるも、2012（平成24）年9月には廃業となり、以後、島内の移動サービスがなくなり、公共交通の空白地域となった。

このような状況により、興居島各町連絡協議会や興居島地区社会福祉協議会等の関係者とともに、利便性が高く継続的に提供が可能な「交通サービス」の検討を重ねていく中で、島民であるボランティア運転手が島民を有償運送する「過疎地有償運送」の導入を検討した。

(松山市通達線有償運送事業)

ごしまふれあいタクシー 運行開始します!!

「病院へ行きたい!」「買物に行きたい!」「港へ行きたい!」
でも交通機関が無くて自由に行けない...
そんなときは「ごしまふれあいタクシー」を
ご利用ください!

呉屋島の
快進の暮らしを
応援します!

「ごしまふれあいタクシー」
【有償運送事業】
乗車料 乗車時間別

対 象		呉屋島に住んでいる方とその家族	
運行区域	呉屋島本島ののみ	運送料金	
営業時間	水、日、年始 08時00分～19時00分 国祝09日 08時00分～17時00分	1人利用	1回.....500円
料 金		2人利用	1回.....800円
		3人以上利用	1回.....8,200円
乗車料		年寄者	
ディサービスセンターごし来	本人.....1,800円	家族	1回.....200円
TEL.089-961-5800			※乗車料金は乗車時間により変動します。

※乗車料金は乗車時間により変動します。
※乗車料金は乗車時間により変動します。

※乗車料金は乗車時間により変動します。
※乗車料金は乗車時間により変動します。

【笑顔あふれる島をめざして】

興南島では、新たな「交通サービス」として「道路地有償運送」を実施します。
道路地有償運送は、自宅や指定の場所から目的地（興南島内に限る）まで、乗り合いにより送迎を行うものです。
皆さまのご利用をお待ちしています。

■ 利用イメージ図

■ 道路地有償運送とは？

公共交通機関によって住民に対する十分な送迎サービスが確保できないと認められる場合において、特定非営利活動法人が主体となり、自家用車を使用して対象地域内の住民を有償で送迎するサービスです。

■ 事務所・配車予約
ダイヤサービスセンター 089-961-5800

この利用には
会員登録が
必要です。

社会福祉法人 経済生活実習 愛媛県民生活

出典：「松山市過疎地有償運送運営協議会(興居島)」資料、
興居島の福祉だより(2015(平成27)年6月20日発行)

(2) ハトマート買い物バス

地域主導での交通導入例として、「買い物バス」が運行され、高齢者の買い物の足として利用されています。

地域主導の交通では、導入に際して中心となる地域組織やキーマンの存在が重要となります。

表 4.3 「ハトマート買い物バス」の概要

項 目	内 容
実施主体	民間(商業施設/ハトマート(A コープ))
概 要	・ 少子高齢化が進む正岡地区では、公共交通の利用不便地域が多く存在し、高齢者が買い物弱者になっていた。 ・ これに対して、地区のまちづくり協議会が中心となりハトマートと折衝し、地区からハトマートへの送迎バスの運行を検討した。 ・ 試乗会や希望調査を実施した後、正式に運行を開始した。
運行開始日	2012（平成 24）年 8 月から正式運行
運行日・内容	・ 毎週金曜日：院内コース、横谷コース、立岩コース ・ 毎週水曜日：光洋台コース、浅海コース
利用料金	無料
利用方法	・ 「行きだけ」、「帰りだけ」の乗車も可能である。 ・ 基本的には停留所での乗降となるが、停留所以外でも手を挙げれば乗車可能である。
運行車両	23 人乗りマイクロバス
補助金の有無	なし



運行車両



停留所以外の乗車の様子



図 4.29 「ハトマート買い物バス」の運行ルート

4.2.5 公共交通の現状と課題

項目		現 状	課 題
公共交通全般		- 松山市駅を中心に集中型の交通網形態となっている。 - 鉄道が無い地域を路線バスがカバーする形態となっている。 - 市全体では公共交通の利用は 4.1% と低い。一方で都心部の公共交通の利用は比較的高い傾向にある。	人口減少や少子高齢化により、公共交通の利用者が減少することが懸念される。
船舶		利用者数は、わずかではあるが減少傾向にある。	
鉄道	JR	- 松山駅を中心に南北に予讃線がとおり、市中心部と郊外部、市外を結んでいる。 - 松山駅の利用者数が約 14,000 人/日と多いものの、郊外部の利用者数は少ない。	
	伊予鉄道（郊外線）	- 松山市駅を中心に 3 路線が郊外部を結んでいる。 - 利用者数はピーク時の 1/2 程度に減少したものの、近年は横ばいである。	
電鉄	伊予鉄道（市内線）	- 市中心部を松山城を取り囲む形で路線網が施設されている。 - 利用者数はピーク時の 1/3 程度に減少したものの、近年は横ばいである。	
路線バス	路線網	- 松山市駅を中心として放射状の路線網となっている。 - 郊外鉄道駅を結ぶ路線も運行されている。	- 利用者の減少に伴い、運行頻度の減少、路線の廃止などの悪循環が生じることが懸念される。 - 利用頻度や利用者特性に合わせた新しい公共交通のあり方を検討する必要がある。
	運行状況	- 路線が重複する都心部では運行頻度が高い区間がある。 - 郊外部では 10 本/日未満の運行頻度が低い区間もある。	
	利用状況	- 輸送人員はピーク時の 1/5 程度まで減少したものの、近年は横ばいである。 - 都心部のバス停では乗降客数が多いものの、郊外部は 50 人/日未満のバス停が多い。	
	運行経費	32 路線中 23 路線が補助を受けている。	
コミュニティバス		- 島嶼部では公共交通空白地となったため、過疎地有償運送事業を導入し、輸送サービスを確保している。 - 中山間地域では、地域主導での交通導入例として、「買い物バス」が運行され、高齢者の買い物の足として利用されている。	

4.3 人の動きの現状

4.3.1 通学者の状況

(1) 高校生の通学動向

松山市内の高校数は16校あり、都市部に立地しています。

生徒数は約1万4,000人程度で一定しているものの、少子化の影響を受け減少傾向になると考えられます。

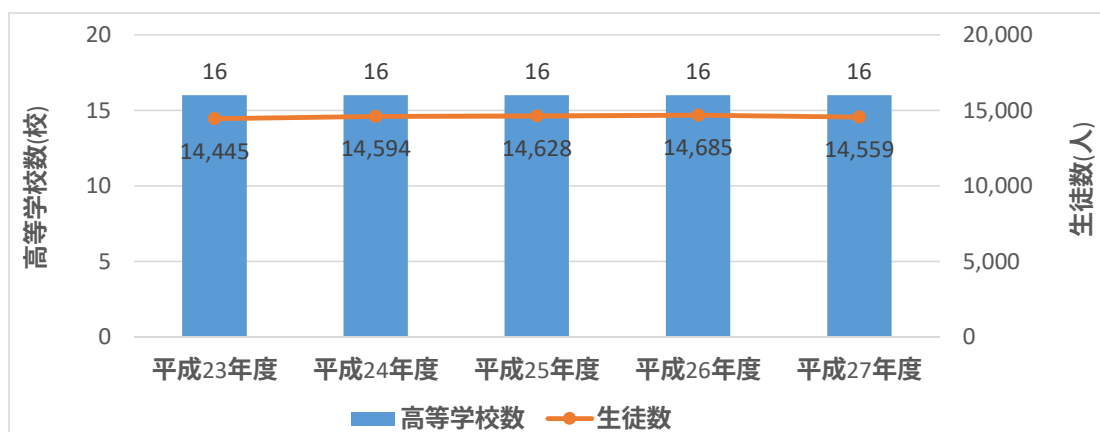


図 4.30 高等学校数と生徒数の推移

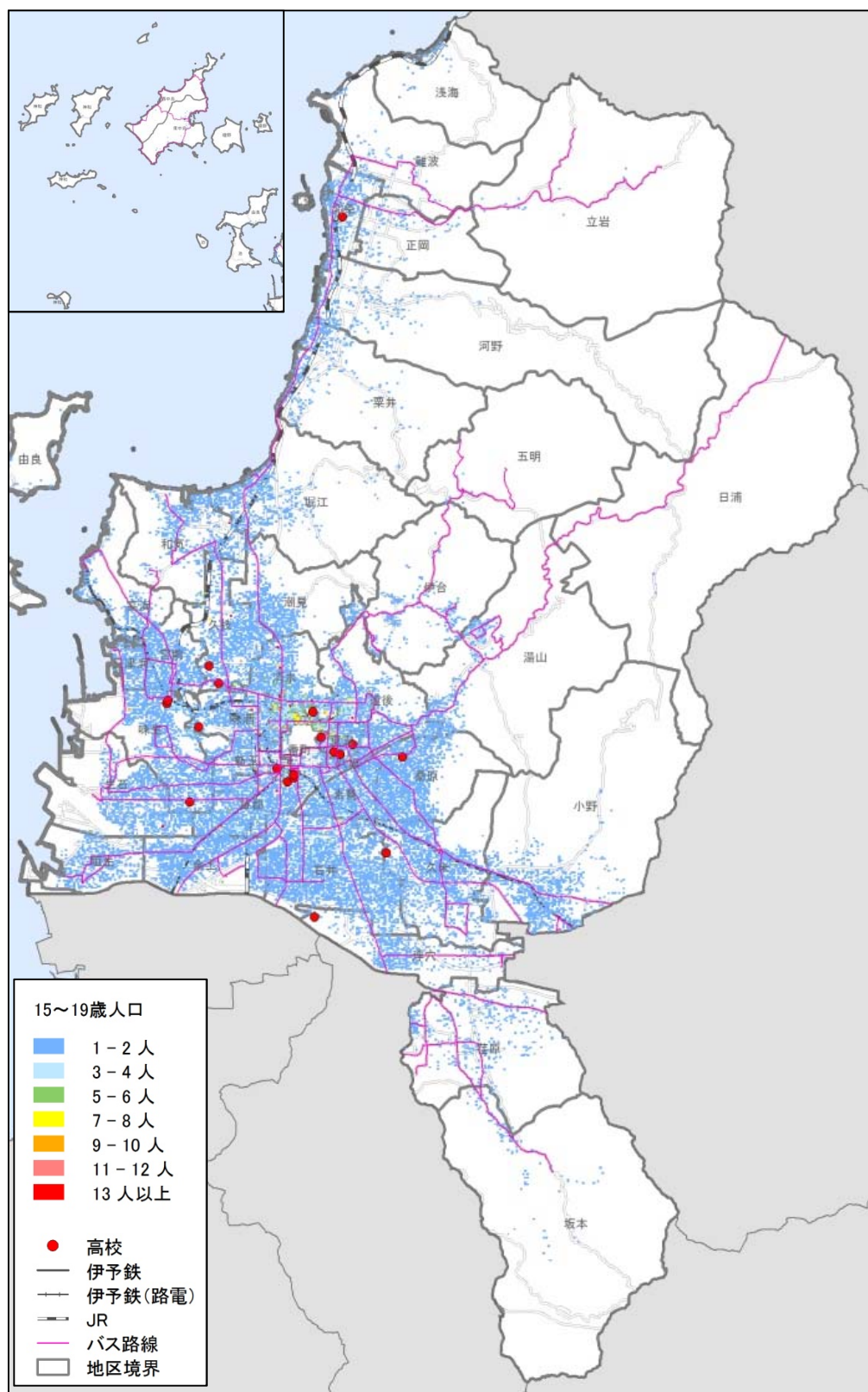


図 4.31 高校分布と 15～19 歳の人口分布

(2) 小中学校の状況

松山市内の小学校は 60 校、中学校は 32 校あり、都市部に立地しています。

生徒数については、小学生は約 2 万 7,000 人程度、中学生は約 1 万 4,000 人で一定しているものの、少子化の影響を受け減少傾向になると考えられます。

小中学生の年齢である 0～14 歳の人口分布をみると、都市部での居住が多くなっています。

立岩、日浦、五明、坂本といった郊外部にも小中学校が立地しているものの、少子化のため人口は少なくなっています。

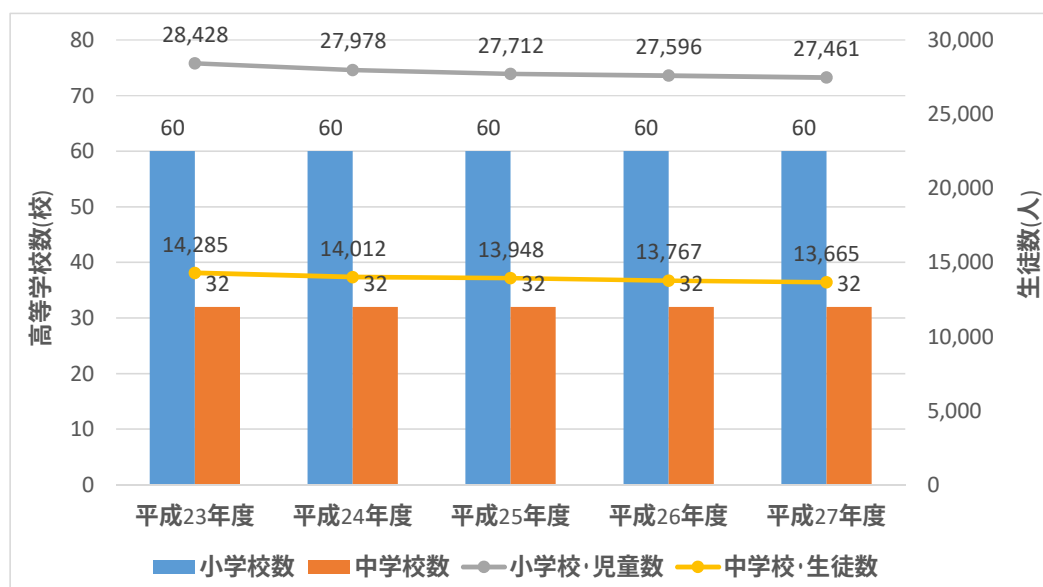


図 4.32 小中学校数と生徒数の推移

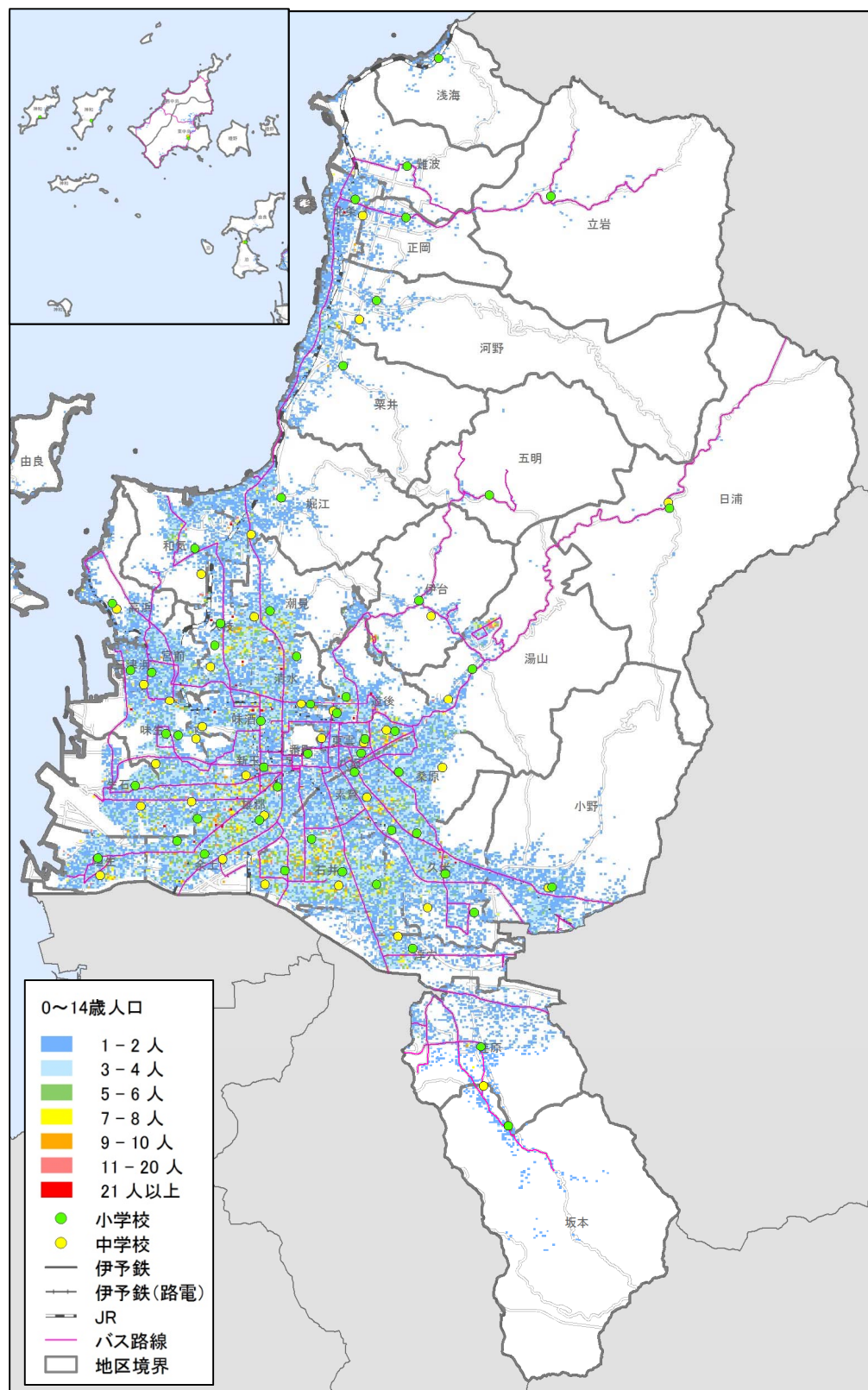


図 4.33 小中学校分布と0～14歳の人口分布

(3) スクールバスの利用状況

スクールバスは、日浦地区、由良・泊地区、中島地区、五明地区、立岩地区で運行されています。

利用者は地区により、増減傾向や利用者が異なります。利用者の多い日浦地区は概ね 40 から 60 人程度で推移しています。利用者の少ない立岩地区や五明地区では概ね 10 人以下の利用者数で推移しています。

運行に係る経費は運行頻度等により異なりますが、5 路線合わせて約 1,600 万円で運行されています。

表 4.4 地区概要・スクールバスの概要

地区	対象校	運行形態	運行日時	運行経路	車種、車両数	運行経費	運行開始日	財源
日浦地区	日浦小学校 日浦中学校	運行管理委託 (3年契約)	開校日 登校1便 下校2便 (3便運行の場合あり)	市役所(中心部)から 日浦小・中学校までの 往復	70人乗り 大型バス1台 29人乗り マイクロバス1台 いずれも市有	修繕料 +燃料代 +委託料 7,177千円	H15.4.1～	一般財源
興居島地区	興居島小学校		開校日 登校1便 下校1便 (2便運行の場合あり)	興小、北浦、由良、鷺ヶ 巣、興小、泊港、興小、 泊港、興小の往復	29人乗り マイクロバス 1台 市有		H18.4～H21.3 交流学习開催送迎 H21.4～ 通学送迎	一般財源
中島地区	中島小学校	貸切りバス 借り上げ (1年契約)	開校日 登校1便	粟井発 吉木・神浦経由 中島小学校までの片道	63人乗り中型バ ス 1台	使用料 4,876千円	H21.4.1～	一般財源 国庫支出金
五明地区	五明小学校	運行管理委託 (3年契約)	開校日 登校1便 下校1便	市役所(中心部)から 学校までの往復	15人乗り ハイエースバンD X1台 市有	修繕料 +燃料代 +委託料 3,834千円	H22.2.17～	一般財源
立岩地区	立岩小学校		開校日 登校1便 下校1便	市役所(中心部)から 学校までの往復	15人乗り ハイエースバンD X1台 市有		H22.2.17～	一般財源

松山市資料より作成



松山市資料より作成

図 4.34 スクールバスのルート